

## 第九十一日目

師 範：沖縄は、激しい沖縄戦を終えた後も米軍に占領されたままでした。本土への攻撃のための空港づくりで、土地を奪われ、働かされました。敗戦後も占領は続き、暴行や略奪などの悲しい犯罪に住民はおびえました。朝鮮戦争では重要な基地として、激しい離着陸が続きしました。基地は拡張され、ベトナム戦争にアメリカが直接介入した65年から71年にかけてはさらに拡張しました。ドルや軍票が使われ、交通はアメリカと同じ右側通行とされました。日本本土から沖縄への出入りにはパスポートが必要でした。沖縄住民の自治への要求や本土への復帰の願いは強まりました。そしてベトナムでアメリカが勝てないことを知った時、アメリカは中国と国交を開き、対決の道を捨てました。日本も中国と国交を開き、戦争状態を終わらせました。東アジアの国際関係に大きな変化がおとずれたのです。このような中、1972年に沖縄は日本に復帰しました。



### 1972年 沖縄が本土に復帰する。

この年を覚えましょう。

コン太：では



### 「戦いに行くな再び沖縄よ」

「いくな」は197、「ふた(たび)」は2を表します。

15世紀ころの平和で、さかんな中継貿易で活気ある沖縄の姿が、いちばんふさわしいと思います。

師 範：なかなかいいですね。

上達しましたね。